

1 国語に関する調査

【特長】

- 物語文の内容を文中の語句の役割や、語句の相互関係に気を付けて的確に理解することができる。
- 「書くこと」について正答率が上がってきており、書くことに抵抗感が少なくなっているようだ。教科全般でレポートや新聞づくりを行ったり、単元の振り返りを記述させたりしていることで力が付いてきていると考える。

【課題】

- 文章量が多くなるとそれを整理しきれず、正答につながる情報を見出すことが苦手である。粘り強く取り組むことやあきらめずに考えることなどを指導していく。
- 継続して取り組む必要のある漢字の誤答や無解答が多く、基礎学力の定着が図れていないと思われる。辛抱強く努力を続けることの大切さを実感させるために、ミニテストなど力を試す機会を増やすとともに、文章の中で正しく使うことができるよう支援していく。

2 算数に関する調査

【特長】

- □を用いた式については、問題の内容をよく理解して解くことができている。また、円グラフの読み取りも図から正しく正解を導き出すことがよくできている。
- 四則計算などの基礎的な計算が身に付いている様子がうかがえる。また、問題をよく読み、最後まで取り組もうとしている児童が多い。

【課題】

- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考え、求め方や答えを式や言葉を用いて記述することに課題がある。学び合いの中で、考えを伝え合うだけでなく、算数的用語を用い、ノートへ記述する活動を取り入れていく。
- 図形の公式や用語の理解に課題があり、解答を導き出せない様子がある。動画やICT機器、具体物を活用して、視覚的に理解を促していく必要がある。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・携帯電話やコンピュータの使い方について、家の人と相談し、約束を守って使用できたと回答している割合が高い。今後も継続的に情報モラル等についての指導をしていく必要がある。
- ・「いじめはどんな理由があってもしてはいけない」「人が困っているときは進んで助ける」と思っている児童が多い。日頃から、『ひとりも見捨てない』『全員が幸せになれる学校』を意識し生活している様子が現れている。

【課題】

- ・ゲームやSNS、動画視聴に多くの時間を使っている児童の割合が高い。成長への影響も踏まえ、活用方法について指導をしていく必要がある。家庭と学校が共に意識し取り組んでいくことが望まれる。
- ・国語の授業で、情報を整理する、話すための材料を結び付けて伝えているという割合が低い。相手に分かりやすく説明するための工夫ができるような経験が必要だと考え、今後も発表する機会を増やしていく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・異学年での学び合い学習を増やし、相手に応じた話し方、説明の仕方がさらに身に付くよう、土屋小学校の学びの姿をこれからも継続していく。
- ・学年の発達段階に応じて各教科「学習計画表」を作成している。子どもたちが計画表を活用し、学習の見通しを立てたり、予習復習したりできるように支援していく。
- ・学びを他教科や日常生活に生かし、学んだ実感を得られるように、教職員は子どもたちを認め、励まし、褒めていく。
- ・たてわり活動などの異学年交流を通じ、お互いを認め合える人間関係を築き、子どもたちが安心して学べるような教育活動を進めていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・子どもたちは生き生きと学校生活を送っています。ご家庭の協力もあり、基本的な生活習慣が身に付いています。今後も規則正しい生活が送れるようご協力をお願いします。
- ・「学習計画表」をもとに予習復習をしてくる児童が増えています。ご家庭でも学習時間の確保と進んで学習に取り組めるよう、励ましの言葉かけをお願いします。
- ・子どもたちは「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思っています。これからも地域の方々との交流を深め、地域行事にも積極的にかかわっていきますので、地域の一員として成長できるよう、温かいご支援と見守りをお願いします。